

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/06/06号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需給ひっ迫見通しで一時的120ドル台回復

NY原油先物相場は、1バレル=118ドル台後半まで値上がりする展開になった。高値は120.46ドルに達し、3月9日以来の高値を更新している。中国需要環境の正常化期待、北半球のドライブシーズン入り、欧州連合（EU）のロシア産石油禁輸の動きなどを手掛かりに、需給ひっ迫リスクの織り込みが続いた。石油輸出国機構（OPEC）プラスは、6月2日の閣僚級会合で7月と8月に増産ペースを加速することを決定したが、原油相場に対する影響は限定的だった。

EUは5月30～31日に臨時閣僚級会合を開催した。直前までハンガリーがロシア産石油の禁輸に反対の姿勢を崩していなかったが、禁輸対象を海上輸送分に限定し、ハンガリーが依存するパイプライン経由分は除外したことをもあり、合意に到達した。原油は6カ月、石油製品は8カ月の間に、禁輸を達成することが求められる。EUは年内に9割の輸入削減になるとの見通しを示している。ロシア産原油と石油製品の供給減少が一段と決定的になったことが、改めて需給ひっ迫懸念を高めた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月27日時点）は、原油が前週比507万バレル減、ガソリンが71万バレル減、石油精製品が53万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫化への信頼強い、120ドル台へレンジ切り上げか

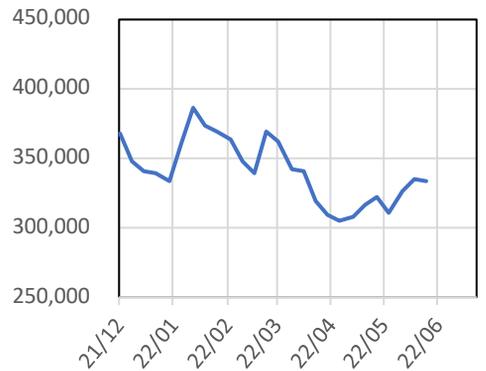
需給ひっ迫評価が一段と強まる中、底固い展開が続き易い。120ドルの節目を完全に上抜くと、3月7日の年初来高値130.50ドルまで目立った抵抗線はなく、値が飛ぶ可能性も想定しておく必要がある。

需要サイドでは、中国で新型コロナウイルスの感染被害が終息に向かい、上海や北京の経済活動が正常化に向かっていることが好感されている。輸送用エネルギー需要の急激な回復が見込まれている。しかも、このタイミングで北米はドライブシーズンを迎えている。ガソリン需要の上振れ傾向が強まり易いが、米ガソリン在庫は9週連続の減少中であり、在庫タイト感が強い。過去5年レンジ下限を大きく下回っているが、更に在庫の取り崩しが進むと、ガソリン相場主導の上昇リスクが高まる。

OPECプラスは、7月と8月に日量64.8万バレルの増産を行うことを決定した。従来の計画では43.2万バレルの増産だったが、EUがロシア産の禁輸を決めたこともあり、極端な需給バランスの不安定化を回避するため、政策調整に動いた模様だ。事前にOPECがロシアを生産協定から一時排除するとの報道も流れていたが、増産規模拡大の形で調整が行われた。これまでOPECプラスはウクライナ危機に対応しないとしていたため、大きな変化と言える。しかし、実際の産油量を大きく増やすことは難しいとみられ、マーケットへの影響は限定されよう。

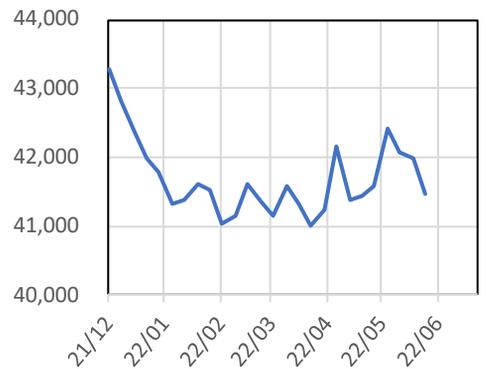
バイデン米大統領は6月下旬に中東を訪問する可能性を報告している。今後は、サウジアラビアなどとの関係改善が進み、OPECから更に強力な増産対応を引き出すことが可能かが注目される。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



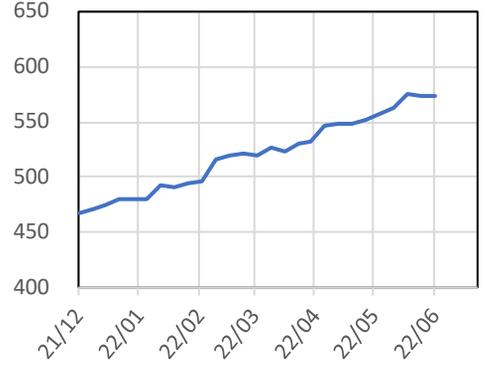
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

